製鐵所側の要求拒絕と

勞友會、友愛會の敗

戰報告演說會

依然怠業繼續か

會の要求に對する回答しては七日午後六時に迄らる可き筈なり此間夜に於て友愛會八幡支部と日本勞友會との間に相當の了解成立し友愛會代表者は病氣の爲め引籠り中なりし日本勞友會理事田崎恕氏を推立後援して八幡製鐵所の本部に製鐵所本事務所横上にて書記長、新村憲兵分隊長立會の上中川次長に會見して要求に對する回答を迫ると共に今回の勞働爭議に關し友愛會に其解決方を一任せられたしと求めたるも中川次長は是を官下に拒絕し飽迄製鐵所としての意味のもとに午後五時より

勞友

最後

の威嚴を確守せん事に努力するの態に友愛勞友の二勞働團體は最早是れ迄なりとして午後五時四十分退出するに至りたるが一方回答時刻たる午後六時に先だつて上京中の白仁長官よりの回答文なりとして午後五時各工場箱番（現場代表）に對し別記の如き印刷物を交附した

回答

を受けたる職工等は何處人を喰つた行り方だらうと冷笑した而して其上に慎重熟慮す可き

工場擴張は無意味である

改善すれば能率は上る

大罷業は役人怠業の所産

製鐵所は今第三期擴張に着手して以來に工場のみ擴張してゐる然るに職工等の言に徴すれは職工の待遇を改善しなければ決して期待の意味である何故なれは職工の待遇の成績を擧げ得るものではないと紙輿を善くし如上の氣風を一掃しさへすれは職工の能率は上つて、現在の工場設備で猶ほ且つ餘りある位である官僚的怠業狀態で一日正味三時間位しか働かない職工が正則な秩序の下に八時間を働くやうになれは生産に於て

◇約三倍近

くの擴張を見る事となる當局が茲に氣附かず

◇此の擴張

は殆んど無意味なる

◇職工の待遇を改善

◇長官以下

上役人總て怠業をやつてゐるのではない

◇大同盟罷業も彼等上役人の怠業と曠職との所産である

七千人に休業

運動の險惡化を恐れた

所謂回答の內容を見よ

檢束者大部分解放さる

損害莫大

五日以來の大罷業に依り八幡製鐵所の被れる損害は實に莫大なる者であつて製作品の數を數ち六日に至つて漸く僅少なる出來有つたけである目下の處算に依れは職工夫の給料三萬圓製作品不能期日延期の損害七萬餘圓合計十萬餘圓となつてゐる事茲に至らしめたに既ては職工側の要求に對し當局者が完全且つ有効なる手段を講ぜなかつた點も無いとは云へまい

職夫退去

七日午前六時職工職夫の交替時間には製鐵所側の回答を聞かんため職工一萬人職夫六千餘名と云ふ平常より一層多い入門者があつたが十時頃は

回答來る

滿京中なる白仁長官よりは七日早朝中川次長宛「一部煽動者の爲す所と信じて居るから此分では聞届の要もあるまい併し要求に對しては承認する條項もあり交渉しかねる要項もある」

賃銀問題は出來得る限り色

五

附けたが

二

五日以來の

大井大將曰

我軍の立場容易ならず

今や浦鹽の兵權は洲良若會の手にあり

現在の安協は破るべし形勢は逆睹し得ざるものあり

森戸事件公判

高野岩三郎博士の熱辯

木村博士は約一時に

佐々木兩博士の熱辯

遵渡早大教授の辯論

吉野博士

森戸辰男
禁錮六ヶ月罰金百圓
禁錮一年罰金百五十圓